

手順④ 大地震発生時の災害リスクを確認

○静岡市清水区の地震による危険

最大震度6強～7の揺れと、液状化の可能性が想定されています。

○震度と体感

震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7
大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる	物につかまらないと歩くことが難しい	立っていることが困難になる	這わないと動くことができない	耐震性の高い木造建物でも傾くことがある

○液状化が発生した場合

マンホールなどの埋設物が浮き上がったり、道路に段差が発生する可能性があります。避難する際には足下に注意しましょう。

情報収集手段に関する紹介

避難情報やハザードマップが確認できます。

静岡県防災アプリ



土砂災害の危険度、河川の様子を確認できます。

気象庁キキクル



避難情報や同報無線の放送、避難所の開設が確認できます。

静岡市防災メール



防災情報が電話から音声で確認できます。

静岡市防災情報(電話)



※避難先が分からない場合は、静岡市HP(指定緊急避難場所・指定避難所一覧)や静岡市地理情報システム しずマップ で確認しよう!

わたしの避難計画 作成ガイド

静岡市 清水区 浜田地区

(上清水町、入江岡町)

<目次>

手順① 家族で避難に時間がかかる人がいるか確認

P1



手順② ハザードマップで自宅の災害リスクを確認し、記入

P2

手順③ 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入

P3



手順④ 大地震発生時の災害リスクを確認

P4

<見本>

静岡市清水区 ■ ■ ■ 浜田地区 作成日 年 月 日

「わたしの避難計画」

別紙の「作成ガイド」を見てチェックしたり、メモしたりしておこう!

①【家族の状況】 ガイド手順①参照

●避難に時間がかかる人

いる _____人

いない

【注意】避難に時間がかかる人がいる場合は、避難のタイミングを確認する必要があります。

大雨(河川氾濫・土砂災害)の危険

あり なし

●避難のタイミング ●避難先 ●情報収集手段

避難指示が出されたら

●●●生涯学習交流館 静岡県防災アプリ

大雨が降った時 ガイド手順②参照

河川氾濫のおそれ

おそれなし

おそれあり

浸水深 0.5 m

家屋流出のおそれあり (家屋倒壊等氾濫想定区域に居住)

浸水のおそれあり (河川の浸水想定区域に居住)

※内水についても、静岡市防災情報マップで確認してみましょう。

土砂災害のおそれ

おそれなし

おそれあり

土砂災害危険箇所

土砂災害(特別)警戒区域

【注意】大雨による土砂災害のおそれがある場合は、安全な場所への避難が必要です。

地震が起こった時 ガイド手順④参照

強い揺れから身を守りましょう!

津波

自宅にきません

自宅にきまず

【注意】津波のおそれがある場合は津波がある前に、できるだけ早く、より安全な場所への避難が必要です。

事前の準備

●持出品リスト 災害時に持っていくものにチェックを入れよう!

<input type="checkbox"/> 現金・通帳	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	<input type="checkbox"/> 携帯電話
<input type="checkbox"/> 充電器	<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> マスク
<input type="checkbox"/> 飲料水	<input type="checkbox"/> 非常食	<input type="checkbox"/> 着替え
<input type="checkbox"/> 常備薬・持病薬	<input type="checkbox"/> 消毒液	<input type="checkbox"/> 体温計
<input type="checkbox"/> その他の持ち物 []		

●緊急連絡先

●●●さん ○○-××××-△△△△

手順① 家族で避難に時間がかかる人がいるか確認

- ・ 家族で避難に時間がかかる人がいるかどうか確認しましょう。
- ・ 避難に支援が必要な方は、あらかじめ支援してもらおう方を決めておきましょう。

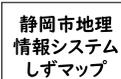
次のページに進もう→

大雨 (河川氾濫 ・ 土砂災害)

手順② ハザードマップで自宅の災害リスクを確認し、記入

ア 自宅の位置を確認しましょう

見にくい場合は「静岡市地理情報システム しずマップ」、もしくは国土交通省の「重ねるハザードマップ」で確認しましょう。



国土交通省
重ねるハザードマップ



※内水についても、静岡市地理情報システム しずマップ で確認してみましょう。

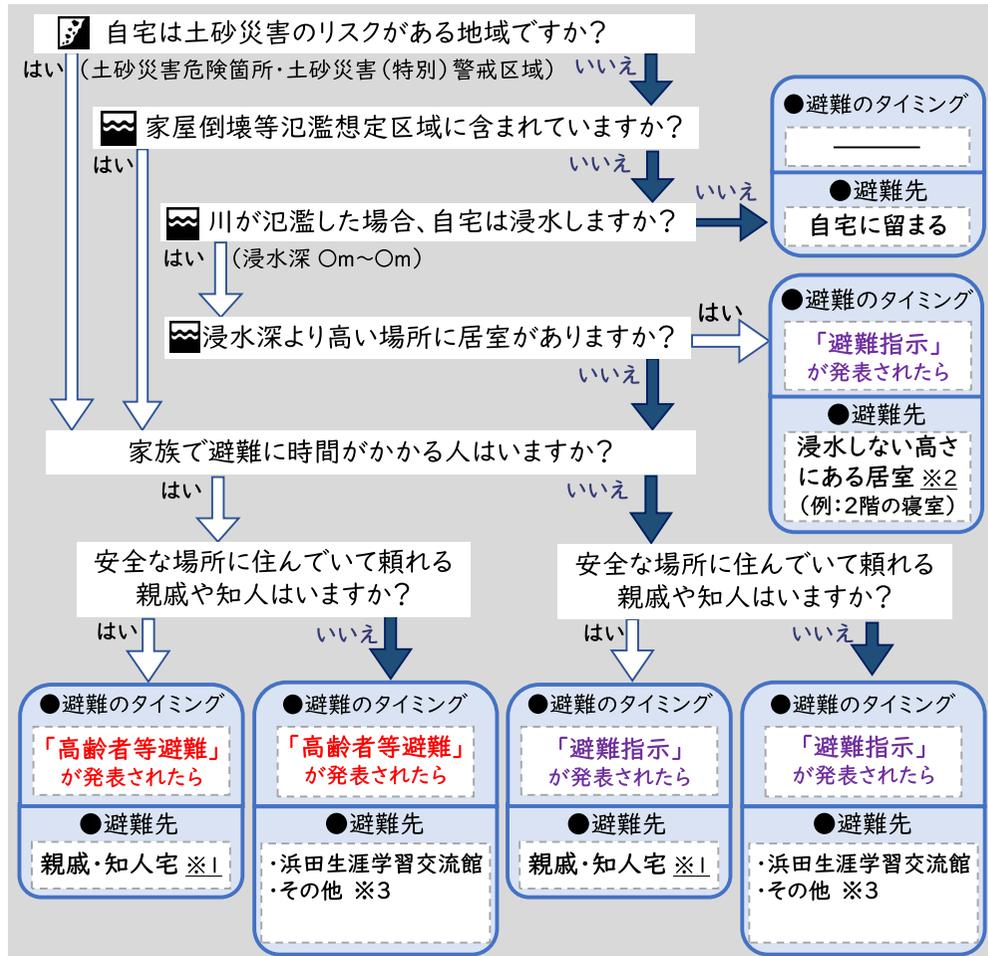
出典：静岡市防災情報マップ(※令和7年1月31日から「静岡市地理情報システム しずマップ」に移行しました。)

イ 下記の災害リスクを確認し、「わたしの避難計画」に記入しましょう

河川氾濫による危険	土砂災害による危険															
<p>○家屋倒壊等氾濫想定区域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河岸浸食 洪水時の河岸浸食により、木造・非木造の家屋倒壊のおそれがある区域 ・氾濫流 河川堤防の決壊又は洪水氾濫流により、木造家屋の倒壊のおそれがある区域 	<p>○土砂災害危険箇所</p> <p>○土砂災害(特別)警戒区域</p> <p>土砂災害が発生した場合、住民等の生命や身体に危害が生じるおそれのある地域</p>															
<p>○浸水想定区域(浸水深)</p> <p>川が氾濫した場合に浸水するおそれがある区域</p> <table border="1"> <caption>洪水浸水想定深</caption> <tr><td>0.3m未満</td></tr> <tr><td>0.3m以上0.5m未満</td></tr> <tr><td>0.5m以上1m未満</td></tr> <tr><td>1m以上3m未満</td></tr> <tr><td>3m以上5m未満</td></tr> <tr><td>5m以上10m未満</td></tr> </table>	0.3m未満	0.3m以上0.5m未満	0.5m以上1m未満	1m以上3m未満	3m以上5m未満	5m以上10m未満	<table border="1"> <caption>土砂災害に関する情報</caption> <tr><td>土石流危険区域</td></tr> <tr><td>土石流危険渓流</td></tr> <tr><td>急傾斜地崩壊危険箇所</td></tr> <tr><td>地すべり危険箇所</td></tr> <tr><td>土砂災害特別警戒区域(土石流)</td></tr> <tr><td>土砂災害警戒区域(土石流)</td></tr> <tr><td>土砂災害特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)</td></tr> <tr><td>土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)</td></tr> <tr><td>土砂災害警戒区域(地すべり)</td></tr> </table> <p>○風水害の避難場所</p> <p>風水害緊急避難場所</p>	土石流危険区域	土石流危険渓流	急傾斜地崩壊危険箇所	地すべり危険箇所	土砂災害特別警戒区域(土石流)	土砂災害警戒区域(土石流)	土砂災害特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)	土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)	土砂災害警戒区域(地すべり)
0.3m未満																
0.3m以上0.5m未満																
0.5m以上1m未満																
1m以上3m未満																
3m以上5m未満																
5m以上10m未満																
土石流危険区域																
土石流危険渓流																
急傾斜地崩壊危険箇所																
地すべり危険箇所																
土砂災害特別警戒区域(土石流)																
土砂災害警戒区域(土石流)																
土砂災害特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)																
土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)																
土砂災害警戒区域(地すべり)																

手順③ 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入

ア 避難のタイミング・避難先を決め、「わたしの避難計画」に記入しましょう



※1 親戚・知人宅へは、可能であれば事前に避難するようにしましょう。

※2 水が引くまでの間の「飲み水・食料」や「簡易トイレ・携帯トイレ」などを準備しておきましょう。

※3 小学校、中学校以外の避難先については、自治会に確認しましょう。

イ 情報収集手段を決め、「わたしの避難計画」に記入しましょう

気象警報、避難情報、同報無線の放送、避難場所の開閉状況

・静岡市公式LINE
・静岡市防災メール
・静岡県防災アプリ



避難情報やニュース

・テレビ
・ラジオ

d ボタンで
避難情報表示